

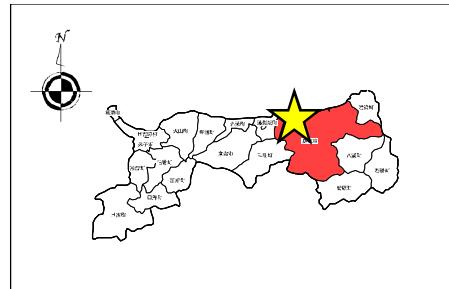
平成 26 年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰最優秀賞地区

【多面的機能支払】

みずほ
「瑞穂地区環境を守る会」（鳥取県鳥取市）

(1) 協定農用地面積：
212ha (田 202ha、畑 10ha)

(2) 組織構成：
9集落 (農家 175 戸、非農家 90 戸)
農業者、土地改良区、まちづくり協議会、
老人会、小学校 P T A で構成



【地区の概要】

本地区は、鳥取市西部、北には日本海、南には鷲峰山を望む自然豊かな田園風景が広がる農村地帯です。地区中央を走る県道は、初夏は紫陽花ロード、秋はコスモスロードとして愛され、美しい環境に恵まれた地域です。



平成 18 年度の「瑞穂を語る会」で議論、平成 19 年度から活動を開始し、9 つの集落、土地改良区、水利組合、瑞穂地区町づくり協議会、老人クラブ、河内川を考える会、認定農業者、公民館など、多様な組織が参加して地域の農業や農村環境を維持しています。

【主な取組内容】

- 町づくり協議会を含め、多様な組織が参加して活動しています。
- 公民館組織が主体に「ホタルの観察会」、小学校と連携した「稲刈り・脱穀体験」、老人会が主体に「魚釣り大会」など、幅広い活動が展開されています。
- 地域独自で研修会を開催、地域自主による農用地や農業用施設の維持管理に取り組んでいます。



稻刈り・脱穀体験



ホタルの観察会



地域独自での
研修会の実施

おおなんちょうく ちば
「邑南町口羽地区農地・水・環境保全管理協定」(島根県邑南町)

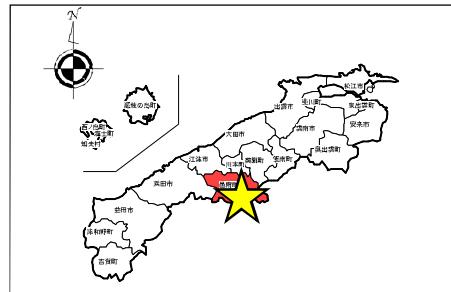
(1) 協定農用地面積 :

67ha (田 63ha、畑 5ha)

(2) 組織構成 :

20 集落 (農家 165 戸、非農家 30 戸)

運営委員会、農業者、自治会、女性部等
で構成、口羽をてごおする会が支援



【地区の概要】

本地区は、広島県との県境の中国山地に位置する 20 の集落からなる少子高齢化や人口減少の進む典型的な中山間地域です。(高齢化率=52%)

近年、農地の維持や農業用施設の保全管理が喫緊の課題となっており、平成 19 年度から旧羽須美村全域で本取組を開始、平成 24 年度の二期対策から地域の繋がりを考慮し旧大字単位の「口羽地区」で活動することとしました。

また、本取組における「口羽をてごおする会」(社会福祉協議会：登録制=約 30 名登録)による活動支援や事務支援は、山間農業地域における地域活動の好例といえます。

【主な取組内容】

- 口羽をてごおする会の支援や、集落間の協力で水路の泥上げ作業等を実施しています。
- 川角集落では、遊休農地化した棚田に花桃の木を植栽。(小学生と連携)
- 2年前から「花桃まつり」を開催し、僅か 8 世帯の集落に 1,200 人が訪れ、その美しい風景は「しまね景観大賞」を受賞されています。



川角集落における花桃植栽



集落間の協力、口羽をてごおする会
の支援による農地維持活動

「阿武川源流保全会」(山口県山口市)

(1) 協定農用地面積 :

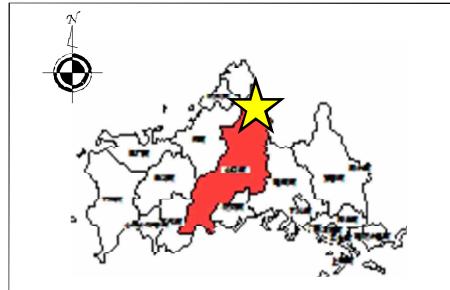
287ha (田 241ha、畑 29ha、草地 17ha)

(2) 組織構成 :

12集落 (農家 164 戸、非農家 212 戸)

農業者、農事組合法人、土地改良区、

集落協定連絡会等で構成



【地区の概要】

阿東嘉年地区は、島根県津和野町に接する山口市の最北部（標高 400m）にあります。

地元のシンボルでもある十種ヶ峰（＝長門富士：21世紀に残したい日本の自然百選）や、下流の長門峡（水源の森百選）など、美しい自然に囲まれた阿武川源流の地域です。

平成 19 年度、従来から行われる地域活動や、
県営ほ場整備地区等の農業用施設を守るため
設立した保全会は、地域の担い手である嘉年
ハイランドや中山間集落協定
と活動エリアが同一であり、
連携した取組が可能となって
います。



【主な取組内容】

- 防草シートの設置（自主施工）や、アップルミントの植栽によるカメムシ対策など、営農負担軽減を考慮した活動が実施されています。
- H25.7 の集中豪雨など、災害時の応急復旧作業にも取り組んでいます。
- フラワーロードへの植栽活動による景観形成を行うとともに、構成組織である「嘉年ゆめ俱楽部」では、ユウスゲの町を目指した植栽活動を行なうなど、連携した取組が行われています。



フラワーロードへの植栽活動



災害復旧活動



防草シートの設置（約 6km）

「高知市東部環境保全の会」(高知県高知市)

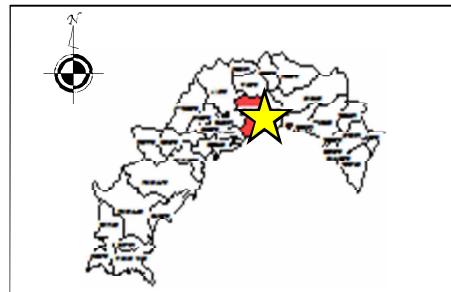
(1) 協定農用地面積 :

96ha (田 88ha、畑 8ha)

(2) 組織構成 :

5集落 (農家 200 戸、非農家 60 戸)

農業者、自治会、土地改良区、JA青年部、高知大学農学部等で構成



【地区の概要】

本地区は、高知市の東部、市街化区域に隣接、水稻を中心に施設園芸（きゅうり、なす、トマト、いちご）が盛んに栽培される農業地帯です。

一方、他地区同様、高齢化や後継者不足による農業従事者が減少する中、平成19年度に土地改良区や自治会が中心となり本組織を設立、地域内の農地維持や施設老朽化対策、地域環境の保全に取組んでいます。

本組織は、高知大学農学部と連携した環境保全活動の実施や、JA青壯年部が中心となり小学校と連携した体験学習等、非農家の方も含めた地域住民による活動が盛んに行われています。



【主な取組内容】

○ 高知大学農学部と連携したため池の水質調査の実施、その結果を基に地域住民を含めた清掃活動を行うことで、地域全体の環境への関心が高まっています。

○ JA青壯年部が中心となり、小学生の農業体験学習を行っています。

○ また、水稻収穫後のほ場ではコスモスの植栽活動を実施。

高知新聞にも掲載され、11月下旬の連休期間には多くの親子連れで賑わいを見せています。



地域住民による清掃活動



コスモスの植栽活動



小学校と連携した農業体験学習